

## 平成 22 年度 事業報告書

### 1．業務の概要

平成22年度は、事業の4つの柱として 生物多様性等自然環境保全に係る普及啓発事業 環境保全型社会・循環型社会に係る普及啓発事業 公害・環境汚染による健康被害等に係る普及啓発事業 地球環境行動会議（GEA）に係る普及啓発事業を掲げ、各分野において事業推進に努めました。特に、近年の経済の悪化、政府等の普及啓発予算の縮減など厳しい社会情勢に対応するとともに、新公益法人制度への円滑な移行とその前提となる運営経営基盤の改善を目指し 企業やNGO・NPOとの連携・協働、寄付金の活用など新たな展開に取り組みました。

平成 22 年は、国連が国際生物多様性年になるとともに、10 月には愛知県名古屋市において生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)が開催されたことから生物多様性に関して、国際生物多様性年国内委員会「地球生きもの委員会」との連携事業やG E Aの COP10 国際会議など新たな事業成果を得ることができました。しかし一方で、公的機関の契約における競争性の導入の徹底や民間企業との競争の熾烈化などにより競争的事業の確保が難しい状況にあり、この結果、当年度事業活動収入は 129 百万円(当年度事業計画比 77%)となりました。

### 2．事業別概要

平成 22 年度は、(1)生物多様性等自然環境保全に係る普及啓発事業、(2)環境保全型社会・循環型社会に係る普及啓発事業、(3)公害・環境汚染による健康被害等に係る普及啓発事業、(4)地球環境行動会議（GEA）に係る普及啓発事業で全 20 件、129 百万円の事業を実施しました。

#### 生物多様性等自然環境保全に係る普及啓発事業

生物多様性等自然環境保全に係る普及啓発事業としては、第 1 回いきものにぎわい企業活動コンテスト等、8 件、57 百万円の事業を実施しました。

## [ 主な事業内容 ]

### 第 1 回いきものにぎわい企業活動コンテスト - 企業の生物多様性保全等実践活動顕彰 -

当財団が経団連自然保護協議会、(社)国土緑化推進機構、(社)日本アロマ環境協会との共催により、企業による豊かな生物多様性の保全や持続的な利用等の実践活動を募集し、優れた取組を顕彰するとともに、これらの取組みを国内外に広く発信した。コンテストへの応募は 154 件あり、審査委員会において審査により環境大臣賞、農林水産大臣賞をはじめとした 12 件の受賞活動を選定し、6 月に表彰式を開催した。また、受賞活動の紹介パンフレットを作成し、COP10 及び国連国際生物多様性年式典の会場等において配布した。

#### 「高尾百年の森」業務

佐川急便(株)からの委託事業を受けて、同社所有の高尾地区の山林(約 50ha)において、環境調査及び活用に向けた計画立案を実施するとともに、スギ・ヒノキ林や二次林の除伐・間伐、下刈り等の森林整備作業を実施した。また、この森林を活用して佐川急便の社員を対象とした環境教育、広く一般向けの環境施設整備体験プログラムなど環境教育イベントを実施した。

#### こどもホタルンジャー事業推進業務(環境省事業)

ホタルを象徴とした水環境保全活動「こどもホタルンジャー」を広く募集。全国から小・中学校、一般団体等 40 団体の応募があり、審査委員会において環境大臣賞 2 団体、優秀賞 4 団体を選定した。また、本活動に係る指導者育成のために、北九州市、山梨県北杜市、仙台市の 3 ヶ所において指導者研修会を実施した。

#### 里地里山保全再生活動支援委託業務(環境省事業)

里地里山の保全・活用の取組の継続・促進を図るため、(1) 全国 10 ヶ所での里地里山保全・活用研修会の開催(2) 研修会に先立つ地域課題の整理と研修会の設計のための事前調査を行った。さらに、(3) 研修会の内容から、里地里山保全活動の継続・促進に向けた手法・方策をとりまとめ、(4) ホームページ「里なび」を通じて、里地里山保全活動の専門家情報、活動団体情報の提供、研修会の手法等の情報発信を行った。

#### 地球生きもの委員会寄付金事業

当財団は、環境省とともに「国際生物多様性年国内委員会(地球生きもの

委員会)」共同事務局を務め、同委員会活動のための寄付を受け、10月に名古屋で開催されたCOP10及び12月に金沢で開催された国連国際生物多様性年式典等において、生物多様性及び同委員会の活動の普及啓発を行った。

#### GREENSTYLE 寄付金事業

(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズとの共同事業としてエンタテインメント業界やGREENSTYLEの趣旨に賛同した企業からの寄付を受け、海岸の清掃活動、野生生物の保護、水環境保全、里地里山の保全活動等の支援、支援先の視察ツアー・農業体験等のコーディネートを実施した。

#### 環境保全型社会・循環型社会に係る普及啓発事業

環境保全型社会・循環型社会に係る普及啓発事業としては、環境保全功労者等環境大臣表彰式等、5件、8百万円の事業を実施しました。

#### [ 主な事業内容 ]

##### 環境保全功労者等環境大臣表彰式実施業務(環境省事業)

6月に東京において「環境保全功労者等環境大臣表彰式」を開催し、「環境保全功労者」11名、1団体、「地域環境保全功労者」19名、34団体、「地域環境美化功績者」13名、32団体を表彰した。

##### NGO/NPO・企業環境政策提言推進事業(環境省事業)

環境政策に対する提言を平成23年1月7日～2月10日(36日間)NGO/NPO・企業に広く呼びかけ募集。応募提言に関する類似事例等調査、推進委員会による第1回審査会、優秀提言候補8団体のヒアリングによる第2回審査会を開催し、優秀提言1件、優秀に準ずる提言3件を選考した。

##### 水環境に関するシンポジウム開催支援業務(環境省事業)

水の問題が世界的にも極めて重要な課題となっている現状を踏まえ、環境省内関係部署等からなる「水環境戦略タスクフォース」が検討した成果を基に水環境にかかる問題等を広く国民に啓発することを目的に、6月東京(三田共用会議所)において「水環境に関するシンポジウム」を開催した。

##### 地球環境基金助成団体活動報告会の開催に伴う設営・運営等に係る業務(環境再生保全機構事業)

地球環境基金の助成を受けて国内外で環境保全活動を行っている環境NGO・NPOによる、助成活動の進捗状況の報告会を11月に東京で開催し、180人の参加を得た。

## 公害・環境汚染による健康被害等に係る普及啓発事業

公害・環境汚染による健康被害等に係る普及啓発事業としては、水俣病経験の普及啓発セミナー開催等業務をはじめとして、6件23百万円の事業を実施しました。

### [ 主な事業内容 ]

#### 水俣病経験の普及啓発セミナー開催等業務(環境省事業)

1月に、幕張メッセ国際会議場において「第2回水銀に関する条約の制定に向けた政府間交渉会議( INC2 )」のサイドイベント「Message from Sufferers of MINAMATA」を開催し、水俣地域・新潟地域の水俣病語り部による講話を行ったほか、水俣病発生地域における環境地域づくり等についてパネル展示、物産品の紹介などを行った。また、11~12月にインドネシア、タイ、中国などアジア7カ国の若手環境行政担当者14名を東京、水俣市に招聘し、国際研修を行った。

#### ぜん息患者教育スタッフ養成研修運營業務(環境再生保全機構事業)

地方公共団体の公害健康被害予防事業に従事する者を対象に、事業の実施に必要な知識及び技術について、3月に大阪で70人を対象に研修を行った。

#### 石綿健康被害救済法関連事業(環境再生保全機構事業)

石綿による健康被害の救済制度の被害者・関係者に対する制度の普及啓発や改善点などについてのアンケート調査を行った。

#### エコライフ・フェア 2010 環境再生保全機構ブース運營業務(環境再生保全機構事業)

「エコライフ・フェア 2010」環境再生保全機構ブースの運営を担当し、ぜん息における環境整備の大切さや、「エコドライブのすすめ」などについての普及啓発を行った。

#### 第47回日本小児アレルギー学会市民公開講座運營業務(環境再生保全機構事業)

12月に横浜で開催された第47回日本小児アレルギー学会の場を活用し、広く地域住民及び学会関係者を対象としてぜん息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の最新治療について公開講座を開催し、180人の参加を得た。

#### ぜん息予防等に関する講演会(岡山県)運營業務(環境再生保全機構事業)

ぜん息患者とぜん息児を持つ家族などを中心とした地域住民を対象とした専門医による講演会を、3月に岡山市で行い、130人の参加を得た。

## 地球環境行動会議（GEA）に係る普及啓発事業

地球環境行動会議（GEA）に係る普及啓発事業としては、COP10への貢献として「生物多様性の保全と持続可能な利用」に関する国際会議やその成果の発信を行うとともに、平成23年度開催予定のGEA国際会議等各種事業の企画立案を実施しました。

### [主な事業内容]

#### 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）への貢献

- 1) 国際会議に向けて事前勉強会を8月に2回開催した。
- 2) 10月に名古屋市で開催されたCOP10の主要テーマである「愛知目標(新戦略計画)」の合意や遺伝子資源の取得と利益配分(ABS)に関する「名古屋議定書」の採択が懸念された中でこれらに焦点を合わせ、内外の関係者を招聘し、COP10に先駆け9月18日に名古屋国際会議場において「生物多様性の保全と持続可能な利用」をテーマで国際会議を開催した。
- 3) COP10期間中のサイドイベント(10月22日名古屋学院大学COP10サイドイベント)において成果を報告した。
- 4) 10月26日CBD-COP10条約事務局、環境省、グローブ・インターナショナル共催の「生物多様性に関する世界環境議員会議」において最終報告・政策提言を発信した。

#### 来年度実施すべき各種事業の企画立案

- 1) 来年度開催予定のGEA国際会議「復興を通じた持続可能な社会づくり～日本の再生を世界と共に」に向け、最新の環境情報、世界の動向を踏まえ、会議のテーマ、招聘者の選定等の準備を進めた。
- 2) 新たな事業展開とし、「環境未来都市構想」の実現に向けたパイロットプロジェクトの一環としての「アジア6大都市環境サミットIN北九州市」、COP10を受け、生物多様性の推進に向けた「ふれあい自然塾事業」の事業企画を本格化させた。